学校番号	2101

令和８年度　学校設定教科

教科	地域連携	科目	(学) インターンシップ	単位数	２単位	年次	３年次以下
使用教科書	使用しない						
副教材等	使用しない						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本語指導が必要な生徒が、より実践的な日本社会で働くことを学ぶための授業です。
・自らの言語や経験を生かして日本で就労できるよう、地元の企業や施設等を訪問見学します。
・予習復習があるときもあります。必ず取り組むようにしてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・日本社会で働くための日本語力(聴く力、話す力、読む力、書く力)を身につける。
・学校とはちがう、職場でのルールやマナーなど(言葉遣い・服装・連絡や報告の方法)を学び、身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・地域の方や企業・施設の方と交流し、異年齢の方とコミュニケーションする方法を学ぶ。
・企業訪問、見学をふりかえり、人に伝える力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
・企業訪問、見学を通じ、社会人・職業人としての勤勉さや責任感、自己管理能力の大切さを学びそれを身に付けようとする態度を養う。
・職場見学や就業体験を通じ、課題対応能力やキャリアプランニング能力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・日本社会で働くための日本語力（聴く力、話す力、読む力、書く力）を身につける。 ・学校とはちがう、職場でのルールやマナーなど（言葉遣い・服装・連絡や報告の方法）を学び、身につけようとする態度を養う。	・地域の方や企業・施設の方と交流し、異年齢の方とコミュニケーションする方法を学ぶ。 ・見学して学んだことをふりかえり、人に伝える力を身につける。	・地域の方や企業・施設の方と交流を通じ、社会人・職業人としての勤勉さや責任感、自己管理能力の大切さを学びそれを身につけようとする態度を養う。 ・職場見学や就業体験を通じ、課題対応能力やキャリアプランニング能力を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前半	働く意味を考える	・働くための資格や情報必要なことについて学ぶ	a:自身の立場において、必要な資格や手順等を理解している b:働く際の必要なスキルを考えている c:働くために必要な姿勢を意識できている	小テスト 単元テスト 発問	発問 記述の点検	発問 観察 レポート
	職業を知る	・興味関心のある職業について調べ、働く意義について考える	a:職業や職種について知識を有する b:働くことについて自身の考えを示している c:さまざまな職業に興味をもって調べようとしている	小テスト 単元テスト 発問	発問 記述の点検	発問 観察 感想文
後半	職業を体験する	・複数の企業を訪問見学し、卒業後の進路について考える	a:日本の職場での立ち居振る舞いや言葉遣いなどの知識を有する b:様々な職場を見学することで、自身の将来について具体的な考えを示すことができる c:意欲を訪問見学している	小テスト 単元テスト 発問	発問 記述の点検	観察 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度